

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 白鷹町

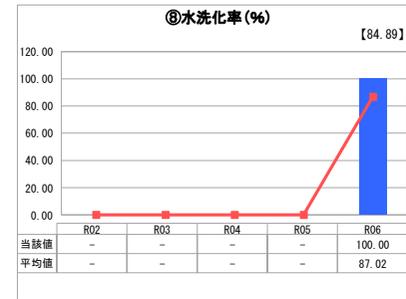
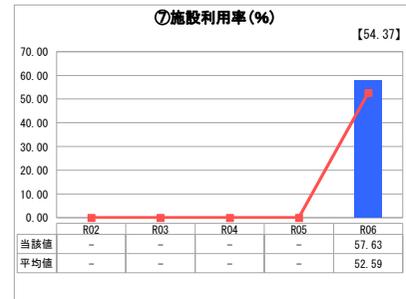
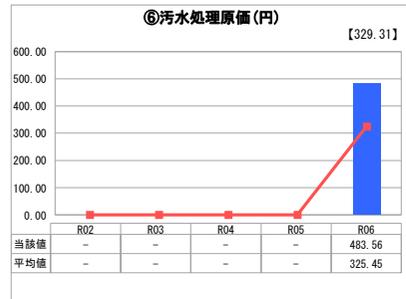
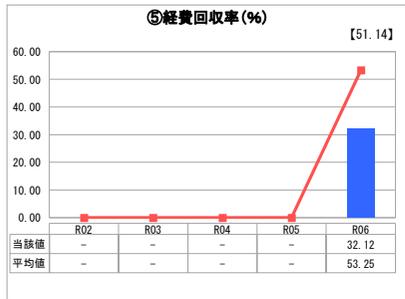
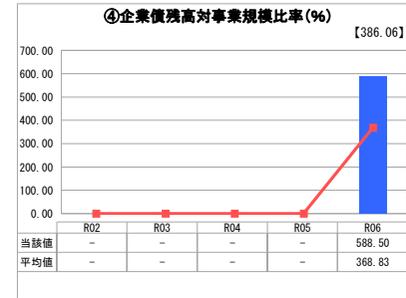
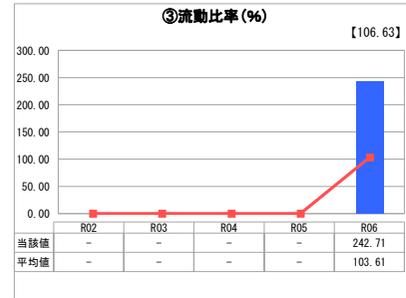
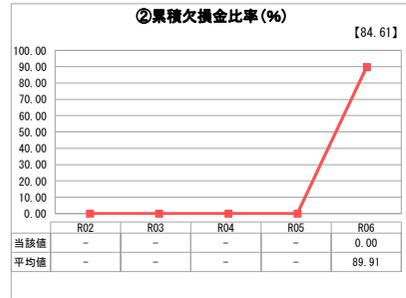
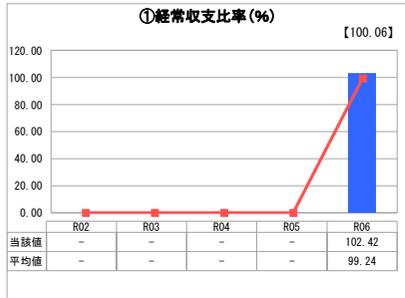
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	57.84	9.71	100.00	3,520

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,222	157.71	77.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,179	152.06	7.75

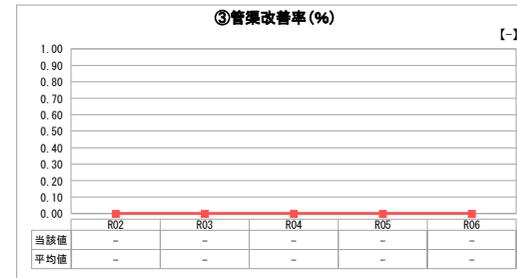
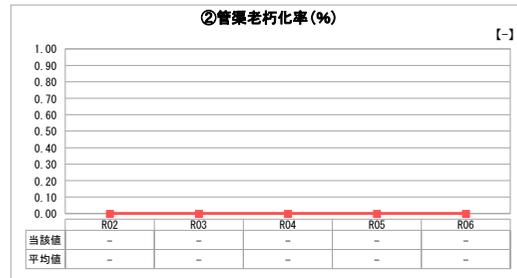
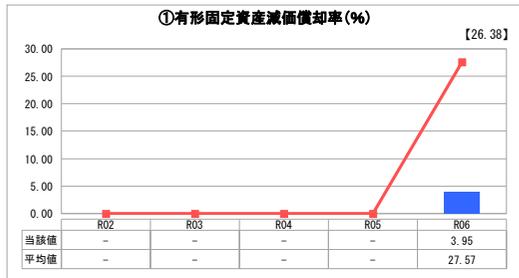
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、使用料収入等で維持管理費や支払利息等の費用を随い、100%を超え平均値を上回った。使用料収入は減少傾向にあることから、更なる経営努力が必要である。
- ② 流動比率は、平均値を上回っている。今後も短期債務に対する支払能力を維持するよう努めていく。
- ③ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高が大きいため平均値を上回っている。
- ④ 経費回収率は、平均値を下回っているため、今後の厳しい経営環境を踏まえ、徹底した費用の削減等、適正な事業運営に努めなければならない。
- ⑤ 汚水処理原価は、汚水量に対して1人当たりの汚水処理費が大きいことが原価が高い要因となっている。
- ⑥ 施設利用率は、年間20基程度の浄化槽を新設し、処理水量が増加していることから、上昇傾向で推移している。
- ⑦ 水洗化率は、当該事業における割合を示しているため、100%となる。安定した収入を確保するためにも、今後も接続促進に努めなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、令和6年度の地方公営企業法適用の際、法適用前の減価償却累計額を控除した額を年度開始時点の資産として計上したため、減価償却累計額が小さく、平均値を下回っている。
- ② 管渠老朽化率及び管渠改善率は、合併処理浄化槽による個別処理であり、集合処理のような管渠整備を行っていないため、該当する値はない。浄化槽の耐用年数は28年程度であり、平成21年度の事業開始から15年以上経過していることから、今後は維持管理費用や更新費用の増加が懸念される。

## 全体総括

合併処理浄化槽事業は、集合処理に比べて維持管理費用が割高となっており、集合処理と同額の使用料体系では維持管理費用を賄っていない状況となっている。  
今後、浄化槽の老朽化による費用の増加が懸念される中で、維持管理費用の赤字部分については、事業を継続していくために一般会計からの繰入金が必要不可欠となってくる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。